

Si-R80brin V02.03 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V02.00～V02.02	内部ホストから外部へPING送信する際、ICMP ID = 0でPING監視を実行するとそれ以降、内部装置からPINGが一切出来なくなる。その際、本装置から同一の監視先へPINGを実施すると正常に応答が返ってくる。
2	V02.00～V02.02	clear ip nat statistics やclear statisticsコマンドで表示されるNAT統計情報中の"same node"カウンタがクリアされない場合がある。
3	V02.00～V02.02	NAT使用時にICMPメッセージに対するエラーメッセージを受信したとき、装置が再起動する場合がある。
4	V02.00～V02.02	本装置をDHCPサーバとして使う運用において、本装置から端末へ送信されるDHCP応答パケットに含まれる送信元MACアドレスがすべて先頭LANポート(lan 0)のMACアドレスになる。
5	V02.00～V02.02	弊社Si-Rシリーズ以外の装置との間でIPsec/IKEを使用して接続する運用環境において、IKEネゴシエーション実行中に装置が再起動する場合がある。
6	V02.00～V02.02	以下の場合にスケジュール機能が指定時刻に動作せず、指定時刻以外の時刻に実行されることがある。 scheduleコマンドで指定した実行時間の1～90秒前に時刻の設定、schedule機能定義を変更する。 addactコマンドで指定した実行時間の1～90秒前に時刻の設定、schedule機能定義を変更する。
7	V02.00～V02.02	IPトンネルの外部IPヘッダにオリジナルパケットのIPヘッダ部のTOS値がコピーされない。このためIPトンネルの外部において本来のIPパケットのTOSを使用したQoS等の機能が使用できない。
8	V02.00～V02.02	NAT装置経由のIPsec/IKE接続において、WANインタフェース側の回線切断やSA有効時間満了等によりIPsec/IKE接続が切断された後の再接続時に、IKEネゴシエーションが失敗し再接続できなくなることがある。